

こころのせい

第32号

平成23年11月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院の理念・基本方針 ◆

理 念

私たちは、安全かつ質の高い医療を提供し、皆さまに信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さまとご家族、更に地域の皆さまの幸せのための医療を実践します。
2. 患者さまの権利を尊重し、真摯かつ温かい態度で接し、心と心が通い合う医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、更に発展向上を目指します。
4. 地域の医療機関や施設と連携し、効率的な医療を目指します。
5. 地球環境に留意し、災害への備えを怠りません。

ブッダガヤ紀行

(その3)

副院長 山口 龍彦



◆ 母親たちへの保健教育実践

インドのビハール州は、インドの中でも貧しい地域だ。まだ、電気が来ていない村々が散在する。

スーリヤ校の優秀な教師たちと共に、車で約10分ほど走り、近くの村へ向かったが、この村には電柱、電線がある様子はなかった。この村にはスーリヤ校が創立された時の小さな校舎があり、今では集会所として使われているその校舎を使って周辺の女性たち（つまり母親たち）に保健教育を行なう予定が立てられていた。保健教材は同行した神奈川県在住の保健師Aさんが日本から持ち込んだもので、主として日本の小中学生用のものである。



村の集会所で母親教室

このよくできた教材を使って、妊娠すると母体はどのような変化があるのか、妊娠中はどのようなことに気をつけなければならないか、赤ちゃんが生まれてきた時はどのようなことに注意して育てなければならないか、といった一般的な話をする予定で、約20人の母親たちを招待していたのであるが、現地に行ってみるとすでに百数十人の母親たちがつめかけてきていて、その子供たちも集まってくるから集会所周辺はまるでお祭りのような騒ぎ。

ともかく、講演の場所を設定し、母親たちを順番に座らせてみると、前列に並んで座ってい

る女性たちは皆 10 代のかわいい子供たちだった。

保健師の A さんは母親でもあるこの「子」たちに、おなかの中で育つ胎児の絵（5 週の小さな胎児、14 週、22 週、30 週、40 週とだんだん大きくなっていく胎児の絵）を見せた。皆、興味しんしん。

おなかの赤ちゃんがこんなに小さくて、へその緒でお母さんとながっていて、お母さんのとる栄養が、へその緒を通して赤ちゃん

にゆくのですよ、お母さんがあまり栄養をとれないと、「おなかがすいた」と言っているかもしれない、「まだお腹にいたいよ」と言っているかもしれない。等々さすが保健師、勘所を外さず聴衆を引きつける。

「この教材も、体重計も血圧計も学校にありますし、スーリヤ校の先生方も力になってくれるから、一人で悩まず、学校の先生方にまず話をしてみましょう。」私たちが去った後は、スーリヤ校の先生方の力を頼るしか継続的な支援の方法はないのだ。

前列の彼女らは、13 歳から 16 歳ぐらいの女性たちで、その中にはスーリヤ校の元生徒もいる。彼女は 13 歳の頃、生理がはじまると、結婚させられ、学校をやめたとのこと。その後、妊娠・流産を繰り返しているらしい。風紀の問題もあり、結婚している女の子を学校に戻すわけにはいかないようで、校長のイノウエさんも切ない想いで元生徒を見守るしかない。

さらに A さんは、乳児の健康づくりに焦点を当てた。乳児体重計を見せ、これを先生方に渡したことで、体重の増えを記録することが大切であること、赤ちゃんの体重が順調に増えていることを確かめることで、元気に育っていることを知ることができること、もし体重が増えていなかったら、原因が何か、どうしたらいいのかを一緒に考えることができること、どうしたらたくさんの母乳が出るのか、どんな時にはお医者さんにかかったほうがいいのかを先生方に相談できること…日本では当たり前のようにできることが、この国ではゼロからはじめなくてはならない。

スーリヤ校で生徒たちに「あなたは将来何をしたいの？」とたずねると、男の子たちは、とても元気に「エンジニアになって、飛行機を作る」とか「建築家になってビルを建てたい」と返事してくれるが、女の子たちは、一瞬躊躇するような表情を見せる。この地で女性の仕事といえば教師になるか、裁縫をするかしかないのが現状なのだ。

◆ 家庭訪問

母親たちへの保健教育の話の後、赤ちゃんのいる家庭を訪問させていただいた。

村の奥へ、細い道を歩いてゆくと、途中には多くの背の低い日干しレンガで造った家々が並び、道にはヤギ、鶏、牛が放たれていた。

その中の一軒にお邪魔すると、赤ん坊を胸に抱いた母親が私たちを待っていてくれた。赤ちゃんは生後 41 日目だという。

私たちはさっそく赤ちゃんの状態を見せてもらった。皮膚の状態も良好で、とても良く育っている健康な男の子であった。同行していただいたスーリヤ校の女性教師に、日本から持参した乳児体重計を使って赤ちゃんの体重を測ってもらうと、体重は 4500 g。出生時の体重は不明だが、3000 g で生まれていたとしても、一日あたりの体重増加量は 36 g なので体重の増加は大変良好ということになる。

お産は、自宅で近所の産婆さん（助産師ではなく、無資格のお産になれた女性）が手伝ってくれたとのこと。この子に限らず、妊娠中や出産時の状態については記録がない。英語版の母子手帳を日本から持参したが、ヒンディー語の母子手帳も普及させたいものである。



星空の下の炊事場

日はとっぴりと暮れ、途中からは夕闇の中の訪問であった。家の中にも街路にも明かりはない。この貧しい家ではランプも特別の時だけしか使えないようであった。

◆ 大菩提寺へ



私たちはこの日のミッションを終え、マハマヤホテルにて夕食をとった後、すぐ目の前の大菩提寺に向かった。大菩提寺は二千六百年の昔、お釈迦様がその木の下で悟りを開かれたという菩提樹の木を中心にしたお寺である。仏教発祥の地のお寺であるから、現在でも世界中から仏教徒の巡礼が絶えない。ここは仏教徒のお釈迦様への信仰の証であり、仏教の最高の聖地なのだ。大塔は夜十時まで美しくライトアップされており、夜間でも信者と観光客を受け入れていた。ともかく一行は、ブツダガヤの初日に、予定のミッションを成功裏に終えて大菩提寺にまでたどり着くことができたので、喜びは一入であった。

紙面が尽きたので、大菩提寺の詳細や、近隣の仏教の聖地での体験は次回に記すこととする。

(次号につづく)

ホスピス・緩和ケア週間

緩和ケア病棟見学会を開催しました

緩和ケア病棟 看護師 井田理恵



ホスピス・緩和ケアをより多くの方々に知って頂くためにホスピス・緩和ケア週間があります。今年は10月2日～10月8日がホスピス・緩和ケア週間でした。

それに伴い緩和ケア病棟を有する当院では、10月6日に緩和ケア病棟見学会を開催しました。当日はお天気にも恵まれ、医療従事者の方、地域の方20名余りの方が参加して下さいました。見学会では、「緩和ケア・ホスピスって何?」「何をしてくれるの?」「医療費は?」「どうしたら入院できるの?」などの疑問を解決して頂けるように、病院の概要とともに

緩和ケアとはどのようなものなのか、緩和ケア病棟で行われていることなど、副院長山口龍彦医師より説明がありました。その後、看護師・医療ソーシャルワーカーの案内のもと疑問・質問を伺いながら、患者さん・ご家族と出会いの場となる緩和ケア外来、ボランティアの方々がお世話を下さっている屋上庭園、お祈りや展覧会などに使用でき、当日は入院中の患者さんが習っているパステルアートを飾っていたチャペル、そしてお世話、お手伝いをさせて頂くこととなる緩和ケア病棟を順番に見学して頂きました。見学後は、ボランティアで来て下さっているピアノ、歌の先生お二人による優しく、懐かしい演奏を入院患者さんとともに聴いて頂き見学会終了となりました。参加して下さいました方からは、「話を聞いて、実際に目で見ること、何となく緩和ケアというものがどのようなものか分かりました。」「疑問や不安に思っていたことがわかって良かったです」などのお言葉を聴くことができました。緩和ケア、ホスピスはこれからも進歩していく中で、私たちは皆さまのニーズにお応えできるよう努力していきます。

また来年、皆様のご参加をお待ちしております。

リレーフォーライフ

リレーフォーライフ in 高知 2011 に参加しました 医療ソーシャルワーカー 山下 梓

平成 23 年 10 月 8 日(土)～9 日(日)に行われました『リレーフォーライフ in 高知 2011』に高知厚生病院でチームを結成し参加してきました。

当日はお天気にも恵まれ、10 月とは思えない暑いくらいの陽気となりました。院内スタッフ 18 名の力がひとつになり、1 本のタスキをつなぎます。歩くコースとなっているトラックの周囲には、参加チーム 32 のチームテントが並び、お互いに手を振ったりとエールを送りながら歩きます。チームで歩いているというより会場全体が一つとなり、タスキをつないでいるように思えました。

夕方になると、皆さんが様々な思いで書かれたルミナリエバッグに明かりが灯り、幻想的な世界が広がります。灯りに導かれるように歩いていると、高知厚生病院で関わった多くの患者様ご家族様の思いがこの一つ一つの灯りとなり、語りかけてくれているようにも思えました。

翌日も良いお天気に恵まれ、フィナーレでは参加者全員でファイナルラップを歩き、当院も皆で万歳をしな

がらのゴールとなりました。私が何より嬉しかったのは、患者様ご家族様が参加して下さった事です。一緒に歩く中で、患者側から見た緩和ケア、家族が必要とする緩和ケアについても教えていただき、私にとっても大変貴重な時間となりました。多くの方々からたくさんの力をいただきながら、これからも皆様から愛される病院を目指していかないと…と実感しました。

高知厚生病院チームで歩いて下さった皆さん、そして大成功に終わったリレーフォーライフの開催に携わられた皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



3分間スピーチ

朝の 3 分間スピーチより

事務部 山崎 泉



先月の連休、中学校の同窓会がありました。

転勤で北海道にいる子が結婚し奥さんと一緒に帰省するという事で、みんなで集まってお祝いしようということがきっかけでした。

私は馬路村魚梁瀬出身です。魚梁瀬は馬路からさらに 30 分上に行った山奥にあります。人口 300 人足らずの小さな集落だったので私の学年は 2 人だけでした。馬路村には馬路中、魚梁瀬中の 2 校があり、同窓会はいつも馬路中のメンバーと一緒にやっています。合わせても 10 人くらいなので個々で話をするというよりはみんなで盛り上がりお腹が痛い位笑って、帰る頃には本当に疲れきってしまいます。メンバーの一人が市内で居酒屋をやっているので場所にも困りませんし、時間の制約もありません。

田舎の学校だったのであんな悪い事をしたねえという話をしても、大きなスズメバチの巣を壊して大騒ぎになったとか、鮎の解禁日には〇〇

君が学校に来なくなるとか、つくづく平和な学校生活を送っていたんだなぁと実感しました。この原稿を考えている時もいろんな思い出がよみがえってきて、つい吹き出してしまいました。

話をすればみんな昔のままですが、男性陣の変貌ぶりには目を見張るものがあり、最初の同窓会では誰か分からず激太りや、急激なオジサン化には驚かされてしまいました。

数年前、同級生の一人が不慮の事故の為、二度と会うことが出来なくなってしまいました。しかし、これから先は今以上にメンバーが減る事なく、むしろみんなの家族が増え、パートナーや子供達も一緒に集まってどんどんにぎやかになってゆく事を願っています。

あの時はこうやった、ああやった、とゲラゲラ、無条件に笑い合えるこのメンバーをいつまでも大切にしていきたいと思います。

掲示板

高知厚生病院健診センターだより

健診センター 事務室 明神 聡

平成23年4月より政府管掌健康保険（協会けんぽ）指定健診実施医療機関として、毎週（月）・（水）午前中に、健診を実施し半年が過ぎました。

初めのうちは、各スタッフともそれぞれの業務は専門ですが、健診センターで一連の流れの中で行うのは、初めてなので、スタッフ間の連携など開設準備委員会で検討はしていても、実際に行ってみると、「もっと安全に、快適に、安心して、待ち時間を少なくスムーズに…」など、たくさんの課題が出てきました。ひとつひとつの課題を検討し、業務を行いながら改善を進めてきました。

9月末現在で、約170名の方にご利用頂いております。1日の受入人数は、4～5名と少なく、他の健診機関の規模には勝てませんが、小規模のメリットを生かし、スタッフは身近な存在として、リラックスした雰囲気の中で、安心感のある健診を実施させて頂いております。何らかの所見を認めた健診結果については、内容により高知厚生病院外来でフォローさせて頂きます。

ご自分の健康を保ち、自信を持つためにはなによりも、ご自身の健康状態を正しく認識することが大切です。**がん及び心臓病、高血圧症、糖尿病、脳卒中などの生活習慣病（成人病）の予防並びに早期発見のために定期的な総合健診**をお勧めいたします。

12月以降は、予約が空いております。健康診断についてのお申し込み・ご相談などお気軽にお申し出下さい。

当センターの胃部検査は、経鼻内視鏡検査を実施しております

経鼻内視鏡検査の特徴は、吐き気の少ない検査です。

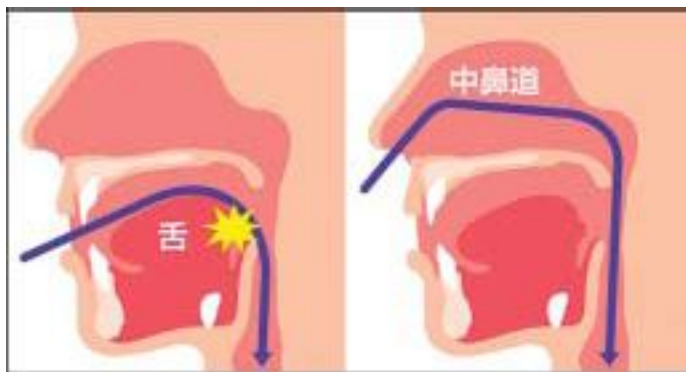
風邪をひいたときの診察で、舌の奥をへらみたいもので押されて「オエッ」となりそうな経験をしたことがあると思います。

これを**咽頭反射（いんとうはんしゃ）**といいますが、口から内視鏡を入れる場合は、多少なりともこうした咽頭反射が起こります。

ところが、鼻から入れる場合は内視鏡が舌の根元に触れないので、ほとんど吐き気をもよおすことなく検査を受けることができます。

（口からの場合）

（鼻からの場合）



下の付け根に触れると咽頭反射が起きる。

舌の付け根に触れないので負担が少ない。

高知厚生病院 外来担当医

診療時間 午前 9時00分～12時30分(受付は12時15分まで)
午後 1時30分～ 5時30分(受付は 5時15分まで)

内 科		1 診	月	火	水	木	金	土
			計田 香子	副院長 山口 泰子	計田 香子	計田 香子	副院長 山口 泰子	高知大医学部第2内科 高尾俊弘(隔週) 井上絃輔(隔週)
		2 診					高知大医学部第3内科 窪田 哲也	
	午後	1 診		計田 香子		外来担当医	計田 香子	(休診)
消 化 器 外 科	午前	1 診	吉本 忠	吉本 忠	吉本 忠	吉本 忠	吉本 忠	吉本 忠
	午後	1 診	吉本 忠	吉本 忠	吉本 忠		吉本 忠	(休診)
整形外科	午前	1 診	院長 山口継志郎	副院長 山口龍彦	院長 山口継志郎	岩津 理	岩津 理	院長 山口継志郎 (10時40分まで) 岩津 理 (10時30分以降)
	午後	1 診	岩津 理	院長 山口継志郎	岩津 理	岩津 理	院長 山口継志郎	(休診)
緩和ケア (予約診療)	午前	1 診						(休診)
	午後	1 診	副院長 山口龍彦			副院長 山口龍彦	副院長 山口龍彦	
禁煙外来 (予約診療)	午前	1 診						(9時～11時) 計田 香子
	午後	1 診	(14時～16時) 計田 香子			(14時～16時) 計田 香子		

- ※ 介護保険・要介護認定等…医師にご相談下さい
 ※ 通所リハビリテーション…月曜日～土曜日(ご利用に関しては、医師にご相談下さい)
 ※ リハビリテーション科…月曜日～金曜日の午前、午後と土曜日の午前中
 ※ はり治療…毎週火曜日と木曜日の午前中で予約制です
 ※ 緩和ケア相談…(予約制) ※ 緩和ケア外来…(予約制)
 ※ 禁煙外来…(予約制) ※ 訪問診療(要相談)、訪問看護も行っております。

日曜・祝日・土曜午後 休診

ご予約に関しては
病院受付までご連絡下さい

TEL:088-882-6205

院内行事

高須保育園敬老運動会



高須保育園敬老運動会に招待を受け、通所リハビリの利用者様数名と見学にいきました。6歳までの様々な年齢の子供たちの一生懸命な姿に、感動しながら大声で応援してきました。 帰りに手作りのレイを頂きました。



当院は
平成15年9月22日より
日本医療機能評価機構
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人
日本緩和医療学
会より認定研修
施設として認定
されました



◆ 厚生労働省より
医療の事後臨
床研修施設の
認定を受けまし
た

通所リハビリ菊見学



11月1日～10日まで春野のピラスティに菊の見学に行っています。

編集後記

秋晴れの日に姫路城へ初めて行きました。残念ながら、現在改装中で白鷺のように美しいお城の外観は見ることができませんでした。(隣に見学棟が立てられ、瓦を下し、漆喰を塗りなおす為に崩れた壁をはがしたりしている作業工程を間近で見ることが出来ます。)大河ドラマ『江』の三女の嫁ぎ先で、西の丸から見えるパワースポットも待ち受けにし、幸運がめぐってくることを待つ今日、この頃です。(乾)



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>